

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 22 日 (2021.4.22)

【公開番号】特開 2018-184385 (P2018-184385A)

【公開日】平成 30 年 11 月 22 日 (2018.11.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-045

【出願番号】特願 2018-48915 (P2018-48915)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 36/534 (2006.01)

A 6 1 K 8/9789 (2017.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 39/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/216 (2006.01)

A 6 1 K 135/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 36/534

A 6 1 K 8/9789

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 19/08

A 6 1 P 39/06

A 6 1 K 31/216

A 6 1 K 135:00

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 8 日 (2021.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

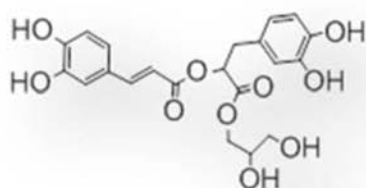
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ペパーミントの茎を水アルコール溶媒の混合物で抽出し、グリセロールによりエステル化することにより得られるペパーミント抽出物 (I) であって、少なくとも式 (I) の化合物を含むペパーミント抽出物 (I)。

【化 1】



【請求項 2】

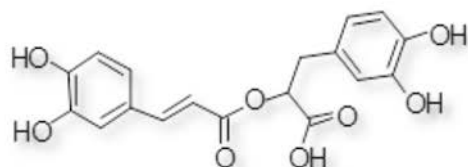
生理学的に許容される媒体中に、請求項 1 に記載のペパーミント抽出物 (I) を含むこ

とを特徴とする、化粧品または皮膚科学的組成物。

【請求項 3】

茎を水アルコール溶媒の混合物で抽出して得られるペパーミント抽出物 (I I) であって、少なくとも式 (I I) の化合物を含む、ペパーミント抽出物 (I I) もまた含むことを特徴とする、請求項 2 に記載の組成物。

【化 2】



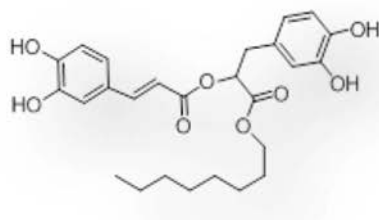
【請求項 4】

水アルコール抽出物 (I I) が、場合により水と混合させた、一価アルコールおよび / またはグリコールによるアルコール抽出により得られることを特徴とする、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

ペパーミントの茎を水アルコール溶媒の混合物で抽出し、オクチルアルコールによりエステル化することで得られるペパーミント抽出物 (I I I) であって、式 (I I I) の少なくとも 1 つの化合物を含む、ペパーミント抽出物 (I I I) もまた含むことを特徴とする、請求項 3 または 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【化 3】



【請求項 6】

抽出物 (I)、(I I) および (I I I) の混合物を含む組成物であって、前記抽出物 (I I) / (I I I) の重量比が 0.5 から 1.5 の間であり、前記抽出物 (I) / (I I) の重量比が 2 から 4 の間であることを特徴とする、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記抽出物 (I) / (I I) / (I I I) の重量比が 3 / 1 / 1 であることを特徴とする、請求項 5 または 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

局所塗布に適することを特徴とする、請求項 2 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記抽出物 (I) または抽出物 (I)、(I I) および場合により (I I I) の混合物が、組成物の全重量に対して、0.01 重量% ~ 10 重量% の範囲の含量を示すことを特徴とする、請求項 2 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

抗酸化効果のための請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の組成物の化粧的使用。

【請求項 11】

化粧品または皮膚科学的組成物における抗酸化剤としての、請求項 1 に記載のペパーミント抽出物 (I) の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

また、当量濃度（１％）で、活性複合体の処方は、トコフェロールおよびビタミンＣ参照の処方（これら２つのスコアは等価である）に対して２倍のスコアを示すことも見出した。

なお、本発明には、以下の実施形態が包含されるものとする。

〔１〕生理学的に許容される媒体中に、ペパーミントの茎の親水化抽出物（Ⅰ）を含むことを特徴とする、化粧品または皮膚科学的組成物。

〔２〕前記抽出物が、グリセロールによりエステル化したペパーミントの水アルコール抽出物によって得られる、前記〔１〕に記載の組成物。

〔３〕ペパーミントの茎の水アルコール抽出物（ⅠⅠ）およびペパーミントの茎の親油化抽出物（ⅠⅠⅠ）をさらに含む、前記〔１〕または〔２〕に記載の組成物。

〔４〕水アルコール抽出物（ⅠⅠ）が、場合により水と混合させた、一価アルコールおよび／またはグリコールによるアルコール抽出により得られ、親油化抽出物（ⅠⅠⅠ）が、オクチルアルコールでエステル化されたペパーミントの水アルコール抽出物により得られることを特徴とする、前記〔１〕から〔３〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔５〕前記組成物が、抽出物（Ⅰ）、（ⅠⅠ）および（ⅠⅠⅠ）の混合物を含み、前記抽出物（ⅠⅠ）／（ⅠⅠⅠ）の重量比が０．５から１．５の間であり、前記抽出物（Ⅰ）／（ⅠⅠ）の重量比が２から４の間であることを特徴とする、前記〔３〕または〔４〕に記載の組成物。

〔６〕前記抽出物（Ⅰ）／（ⅠⅠ）／（ⅠⅠⅠ）の重量比が３／１／１であることを特徴とする、前記〔１〕から〔５〕のいずれか一項に記載の組成物。

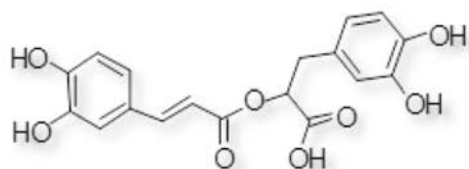
〔７〕局所塗布に適することを特徴とする、前記〔１〕から〔６〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔８〕前記抽出物（Ⅰ）または抽出物（Ⅰ）、（ⅠⅠ）および（ⅠⅠⅠ）の混合物が、組成物の全重量に対して、０．０１重量％～１０重量％、特に０．１重量％～１０重量％、好ましくは１重量％～５重量％の範囲の含量を示すことを特徴とする、前記〔１〕から〔７〕のいずれか一項に記載の組成物。

〔９〕皮膚の細胞の老化現象に関与するフリーラジカルの存在を低減することによる、抗酸化効果のための前記〔１〕から〔８〕のいずれか一項に記載の組成物の化粧的使用。

〔１０〕ペパーミントの茎を水アルコール溶媒の混合物、好ましくはエタノール／水混合物で抽出することにより得られる、少なくとも１つの式（ⅠⅠ）の化合物：

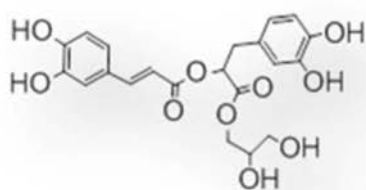
【化１】



を含む、ペパーミント抽出物（ⅠⅠ）。

〔１１〕前記〔１０〕に記載の方法によるペパーミントの茎を抽出し、グリセロールでエステル化することにより得られる、少なくとも１つの式（Ⅰ）：

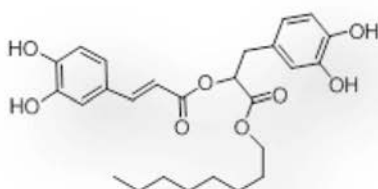
【化 2】



の化合物を含む、ペパーミント抽出物（Ⅰ）。

〔 1 2 〕 前記〔 1 0 〕に記載の方法によるペパーミントの茎を抽出し、オクチルアルコールでエステル化することにより得られる、少なくとも 1 つの式（ⅠⅠⅠ）：

【化 3】



の化合物を含む、ペパーミント抽出物（ⅠⅠⅠ）。

〔 1 3 〕 抽出物（Ⅰ）、（ⅠⅠ）および（ⅠⅠⅠ）を含む混合物であって、前記抽出物（ⅠⅠ）／（ⅠⅠⅠ）の重量比が 0.5 から 1.5 の間であり、前記抽出物（Ⅰ）／（ⅠⅠⅠ）の重量比が 2 から 4 の間であり、優先的には、前記抽出物（Ⅰ）／（ⅠⅠ）／（ⅠⅠⅠ）の重量比が 3 / 1 / 1 である、抽出物（Ⅰ）、（ⅠⅠ）および（ⅠⅠⅠ）を含む混合物

。

〔 1 4 〕 化粧品または皮膚科学的組成物における抗酸化剤としての、抽出物（Ⅰ）の使用

。

〔 1 5 〕 化粧品または皮膚科学的組成物における抗酸化剤としての、前記〔 1 4 〕に記載の抽出物（Ⅰ）、（ⅠⅠ）および（ⅠⅠⅠ）を含む混合物の使用。